

# 私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会

## 2003(平成 15)年度 第 2 回定例幹事会議事録

1 日 時 平成 15 年 12 月 5 日 ( 金 ) 13:30 ~ 17:00

2 会 場 第一経済大学 大会議室

### 3 進行スケジュール

13:30 開 会

(1) 開会の言葉

(2) 幹事館挨拶 第一経済大学 図書館長 中村 彰夫 氏

(3) 議長選出

(4) 資料確認

(5) 出席者自己紹介

(6) 協議事項 1)2007・2008 年度九州地区協議会当番校について

(長崎総合科学大学・九州共立大学)

2)2007 年度西地区部会研究会当番校について

(九州共立大学)

3)九州地区協議会 H P 関連のアンケート調査の結果と、

同会メーリングリストの運用方法について

(九州共立大学)

4)2007・2008 年度の九州地区研究会幹事校・研究発表ローテーション

校の選出方法について

(九州共立大学)

5)2003 年度九州地区協議会総会の報告について

(宮崎産業経営大学)

6)2003 年度九州地区研究会決算報告について

(九州共立大学)

7)2004 年度九州地区協議会総会実施計画案について

(第一経済大学)

8)2004 年度九州地区研究会実施計画案について

(筑紫女学園大学)

(7)確認事項 1)本会関係の次年度以降の役員校・当番校について

(九州共立大学)

17:00 終 了

私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会

2003(平成 15)年度 第 2 回定例幹事会出席者名簿

地区別・職務上 内規第 3 条による	大 学 名	役 職 名	氏 名
(福岡北部)	(九州共立大学)	(業務課長)	(松尾 伸二)
福岡南部	筑紫女学園大学	課長	浅井 博子
九州中部	長崎総合科学大学	課長	伴 卓士
九州南部	宮崎産業経営大学	図書課長補佐	関屋 芳朗
九州地区理事校	九州共立大学	業務課長	松尾 伸二
内規第 3 条第 2 号による出席 [ 前期理事校 ]	福岡工業大学	係長	坂本 祥嗣
内規第 3 条第 3 号による出席 [ 2003 年度協議会当番校 ]	(宮崎産業経営大学)	(宮崎図書課長補佐)	(関屋 芳朗)
内規第 3 条第 3 号による出席 [ 2004 年度協議会当番校 ]	第一経済大学	館長 課長補佐 図書係 図書係	中村 彰夫 池部 武臣 安里 薫 阿波村 祥代

( )は兼務を示す。

出席者 6 館 9 名

## 議事録

## 協議事項 1) 2007・2008年度九州地区協議会当番校について

(提案:長崎総合科学大学・九州共立大学)

本年度第1回定例幹事会の決議を受けて、長崎総合科学大学と九州共立大学から各地域の大学へ打診した結果、次の大学から了承を頂いた。

なお、本案は2004年度九州地区協議会に提案して確定させたい。

2007(平成19)年度 (福岡県北部) \_\_\_\_\_  
 2008(平成20)年度 (長崎県) \_\_\_\_\_

1. 上記議案について、議長(理事校)より、西南女学院大学及び活水女子大学に打診をした経緯及び了承を受けていることの説明がなされた。
2. 本議案通り、上記両校に是非御尽力(御協力)頂き、次年度第1回九州地区協議会に本件を提案し、確定されることで、可決した。

## 協議事項 2) 2007年度西地区部会総会当番校について

(提案:九州共立大学)

本年度第1回定例幹事会の決議を受けて、九州共立大学から九州地区協議会A及びB枠に該当する大学で、これまでの西地区部会の総会当番校・研究会当番校の担当実績を基にして打診した結果、次の大学から了承を頂いた。

なお、本案は2004年度九州地区協議会及び西地区部会関係の会議に提案して確定させたい。

2007(平成19)年度 (九州地区) \_\_\_\_\_

1. 上記議案について、議長より、福岡工業大学に打診し、了承を受けていることなどの説明がなされた。
2. 本議案通り、上記校に是非御尽力(御協力)頂き、次年度第1回九州地区協議会及び西地区部会関係会議に提案し、確定させることで可決した。

## 協議事項 3) 九州地区協議会HP関連のアンケート調査の結果と、同会メーリングリストの運用方法について

(提案:九州共立大学)

本年度第1回定例幹事会の決議を受けて、「本会ホームページの内容・運用及びメーリングリストに関するアンケート」を調査した結果、44校から回答があり、次のとおりであった。

質問1 九州地区協議会HPから自館HPへのリンクを希望するか。

希望する 38校(86.4%)

希望しない 6校(13.6%)

質問2 九州地区協議会HPに追加した方がよい内容等(自由記述)

次年度以降の総会・研究会幹事校の当番校、メンバーだけの掲示板(承合事項や情報交換のため)、九州地区のほかの協議会とのリンク集(状況に応じて拡張)

質問3 九州地区協議会としてのメーリングリスト(MR)作成と、自館への連絡方法

MR作成して、事務連絡はEメール 34校(77.3%)

MR作成してよいが、事務連絡はファックス 10校(22.7%)

MR作成に同意しない 0校(0%)

この結果に従って、九州共立大学から西地区部会長校へ別添「メーリングリスト申請名簿」を提出した。その際には、西地区部会長校と協議して、頻繁に変更申請をしなくてすむように、各館の申請者氏名は「私大図協担当者」とした。

また、長崎国際大学図書館から、別紙の意見があった。

そこで、九州地区協議会のメーリングリストの運用方法については、当面の間は、次のようにしたい。なお、本案は2004年度九州地区協議会に提案して確定させたい。

1. 本メーリングリストによる配信は、九州地区理事校から各加盟館への一方通行とする。
2. 本メーリングリストによる事務連絡を受けた各加盟館が返信する場合は、当該メールから直接返信しないで、各加盟館が登録しているメールアドレスで返信する。
3. 本メーリングリストの実際の運用は、2004年度九州地区協議会開催日以降に開始する。

1. 上記議案について、議長より、本件に関するアンケート集約結果の報告及び所要の説明がなされた。
2. 本案はアンケートの結果にもとづき、各加盟館の事情を考慮しながら、事務連絡を、メーリングリストによるメール配信、ファックスによる配信、通常のメールによる配信、の3通りで実施したいというものである。
3. 細部説明：長崎国際大学の意見は、各加盟館が自由にメーリングリストを使用すると、その後の業務処理の負担やウィルスの心配があるので、役員校のみが使用してはどうか、という主旨である。
4. 本件について審議の結果、上記案を採用し、実施に向けた準備をすることで可決した。
5. なお、本件は、現段階においては実施に向けた準備をするものであり、今後は、色々な意見や知恵をいただき又、ホームページ委員校の西南学院大学と協議しあるいは他地区の今後出してくるホームページの内容等を見極めることで意見一致した。
6. また、本件による事務連絡を実際に行う前には、各加盟館に対してメーリングリスト使用の留意点や登録アドレスの変更方法等を十分に説明することが確認された。
7. 結言：上記実施要領で可決したことを次年度第1回九州地区協議会に提案して確定させることで可決した。

協議事項 4) 2007・2008年度の九州地区研究会幹事校・研究発表ローテーション校の選出方法について (提案:九州共立大学)

本件について「九州地区協議会役員校等ローテーション表の開設」(2002年4月18日)では、研究会幹事校はできるだけA、B枠以外から選出する傾向がある、研究発表ローテーションは概ね6～7年間隔、と記載されている。

また、近年の研究会幹事校・研究発表ローテーション校の選出地区は下表のとおりである。

	研究会幹事校	研究発表ローテーション校			
平成14年度 (2002年度)	南部 宮崎国際	南部 宮崎国際	中部 長崎純心	福岡南 福岡	南部 志学館
平成15年度 (2003年度)	福岡南 第一薬科	南部 鹿児島国際	福岡南 福岡女学院	福岡南 中村学園	南部 宮崎産経
平成16年度 (2004年度)	福岡南 筑紫女学園	福岡南 筑紫女学園	中部 西九州	福岡北 西南女学院	中部 崇城

平成 17 年度 (2005 年度)	福岡北 近大九州工	福岡北 近大九州工	福岡南 第一薬科	中部 活水女子	中部 別府
平成 18 年度 (2006 年度)	中部 日本文理	中部 日本文理	南部 南九州	福岡北 西日本工業	南部 沖縄

そこで、2007・2008 年度の九州地区研究会幹事校・研究発表ローテーション校を下表のように選出し、各研究会幹事校への着任打診は九州地区理事校が、各研究発表ローテーション校の選出と着任打診は各地区幹事校がそれぞれ担当して、平成 16 年 1 月末日までに九州地区理事校へその結果を連絡する。

	研究会幹事校	研究発表ローテーション校			
平成 19 年度 (2007 年度)	中部 熊本学園	中部 熊本学園	福岡北	福岡南	福岡南
平成 20 年度 (2008 年度)	福岡北 九州国際	福岡北 九州国際	南部	中部	福岡南

1. 上記議案について、議長よりまず、既に確定の平成 18 年度までの研究会幹事校及び同ローテーション校一覧が、上記一覧表で説明され、この通りであることを確認した。
2. 次いで、平成 19・20 年度の各役員校選出にあたっては、次の事項も選考要素とすることで意見が一致した。
  - (1) 過去のローテーション表(勤務実績)を参考にする。
  - (2) 研究会幹事校選出にあたっては、努めて研究発表ローテーション校を経験した後に選考の対象校とする。従って、新加盟校は努めて早期に研究発表ローテーション校をまず経験する方向で考える。
3. 平成 19 年度、同 20 年度研究会幹事校については、上記案通り、それぞれ熊本学園大学及び九州国際大学に御尽力(御協力)頂き、宜しく願いますこと又選出と着任打診については上記要領案の通り行うことで可決した。

協議事項 5) 2003 年度九州地区協議会総会の報告について (提案:宮崎産業経営大学)  
別添資料へ

上記事項について、当番校より、成果概要、収支報告及び反省事項等について報告がなされた。特に、議事録発送時の問題点、九州地区大学図書館協議会(宮大)との意志疎通の重要性、準備期間中に於ける莫大な業務量及び本番直前までの参加者変更に伴う対応等、今後、本任務着任校に対する貴重な教訓と業務遂行上の資を得ることができた。

協議事項 6) 2003 年度九州地区研究会決算報告について(九州共立大学)  
別添資料へ

上記事項について、議長(九共大)より成果の概要、収支決算報告の細部項目の具体的説明及び収支報告の点検、照合結果が、合規適正に行われていた旨の報告がなされた。

協議事項 7) 2004 年度九州地区協議会総会実施計画案について (提案:第一経済大学)  
別添資料へ

上記計画案について、次年度当番校より実施計画案が示され、本案通りで準備を進め実行に移すことで可決した。(平成16年4月22日(木)15:00~19:30 於:福岡ガーデンパレス)

協議事項 8) 2004年度九州地区研究会実施計画案について (提案:筑紫女学園大学)  
別添資料へ

上記計画案について、次年度幹事校より、実施計画案が示され、本案通りで準備を進め実行に移すことで可決した。(平成16年9月10日または17日で福岡市内で検討中であるが、今後、他の行事等との関連をみて決定することとなった。)

確認事項 1) 本会関係の次年度以降の役員校・当番校について

2004年度地区理事校	九州共立大学
2005~2006年度西地区部会長校	久留米大学
2005~2006年度地区理事校	九州東海大学
2005年度西地区部会総会当番校	沖縄国際大学

上記事項について、既確定事項ではあるが、再度確認をした結果、確かにこの通りであることを全員が確認した。

(平15#1九州地区協議会 15.4.24(木)で確定)

以上  
(記録:第一経済大学附属図書館)